

議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	令和5年度第6回政策会議
開催日	2023年(令和5年)7月13日(木)9:01~9:29
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	鈴木市長、和田副市長、宮治副市長、岩本教育長 (政策会議委員) 総務部長、企画政策部長、財務部長、防災安全部長、市民自治部長、生涯学習部長、福祉部長、健康医療部長、保健所長、子ども青少年部長、環境部長、経済部長、計画建築部長、都市整備部長、道路河川部長、下水道部長、市民病院事務局長、消防局長、教育部長、議会事務局長、監査事務局長(欠席)、選挙管理委員会事務局長、農業委員会事務局長
議 事	(1) 議題(審議事項) 1 令和5年度第1回藤沢市公共資産活用等検討委員会について(企画政策部) 2 OUR Project マスタープランの策定について(企画政策部) 3 脱炭素の取組促進に向けた庁内推進体制について(環境部) (2) 報告・情報提供等 なし
内 容	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 (1) 議題(審議事項) 1 「令和5年度第1回藤沢市公共資産活用等検討委員会」について (説明者:企画政策部長) □企画政策部長から、資料1~3に基づき概要説明が行われた。 《内容》 「藤沢市公共資産活用等検討委員会」において、検討及び審査した結果を報告するもの。 《主な意見等》 ○これは意見だが、片瀬市民の家の再整備について、片瀬子どもの家との複合化については利用者の利便性を考慮して実施しないこととした、とある。片瀬子どもの家についても老朽化が指摘されていることから、今後再整備に向けて検討が始まると思うが、複合化が原則であることには変わらない。それならば、片瀬市民の家と片瀬子どもの家の複合化について、より幅広く検討する余地があったのではないか。 ○公共施設については、施設数、棟数、延床面積ともに増加しており、時代によって求められるニーズも変わってくるが、改めて縮小する

意識を持っていただきたい。今後、企画政策課で第4次藤沢市公共施設再整備プランの策定について進めていくので協力をお願いしたい。

《結果》

了承。

2 OUR Project マスタープランの策定について

(説明者：企画政策部長)

□企画政策部長から、資料1～2に基づき概要説明が行われた。

《内容》

OUR Project マスタープラン（生活・文化拠点再整備基本計画）の素案について、報告するもの。

《主な意見等》

○内水浸水対策を検討されているが、周辺は南消防、保健所、医師会館があり、防災の拠点となるような施設があるため、内水浸水対策を検討する際には情報共有を図っていただきたい。

⇒市民会館周辺は基本的に昨今の雨の状況にも対応でき、床上浸水が起こらないようポンプ場や貯留施設を計画している。よって浸水対策はまかなえろと考えている。

○津波の遡上に関しての対策は、プランに含まれているか。

⇒OUR Project の対象エリアについては、津波浸水想定区域及び津波災害警戒区域に該当していないため、津波の浸水は想定されていない。津波の遡上による河川水位の上昇は想定されるが、対象エリアへの津波の影響はないものと考えている。

○内水浸水にも関係するが、下水施設の計画が元々の計画よりも長期になっている。今後、下水工事が長期間にわたるため、内水浸水対策にも工夫が必要である。施設の性質からも色々と考慮していく必要があり、改めて調整の場を設けていただきたい。

《結果》

了承。

3 脱炭素の取組促進に向けた庁内推進体制について

(説明者 環境部長)

□環境部長から、資料に基づき概要説明が行われた。

《内容》

本市における脱炭素の取組を促進するため、現行の藤沢市環境政策推進会議を、市長を本部長とする藤沢市環境政策推進本部会議に改めるもの。あわせて、部局間の調整については、総務主管者会議において実施するとともに、実務担当者レベルの協議の場として、新

	<p>たに、「(仮称) ゼロカーボン推進専門部会」を設置するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>○資料の4ページ「4. 今後の推進体制(案)」の専門部会に建物ワーキンググループが記載されているが、公共施設の省エネ等も含まれるか。含まれる場合、企画政策部が担当するのか。</p> <p>⇒藤沢市環境保全職員率先実行計画に基づいており、公共施設が主になるため、企画政策部に担当いただきたいと考えている。</p> <p>(2) 報告・情報提供等 なし。</p> <p>4 その他 なし。</p> <p>5 閉会</p>
--	--